授業科目	＊応用栄養学Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	天本　理恵						
授業概要	管理栄養士、栄養士として具備すべき栄養マネジメントについて概説する。食事摂取基準 2020 年版の指標の概念、策定の科学的根拠（策定の基礎理論）について解説する、さらに活用の基本的事項についても概説する。食事摂取基準に関しては、1 年次の「栄養学概説」の復習も兼ねる。ライフステージ別の身体・精神面における特徴や栄養・食生活の特性、問題点などを取り上げ、各ライフステージに適した栄養管理について解説する、栄養管理にはライフステージ別の食事摂取基準の解説も含む。応用栄養学 1 ではライフステージのうち、母性（妊娠・授乳期）および乳児期について取り上げ、妊婦、授乳婦における母体の生理的変化や栄養管理の必要性等、乳児期の成長、発達や生理的変化等について解説する。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．栄養マネジメントの概要を説明できる(DP1-2,DP4-1,DP5-1)。 2．エネルギーと各栄養素の指標の概念、食事摂取基準策定の科学的根拠（策定の基礎理論）および活用の基礎理論について 1 年次の「栄養学概説」の内容も含め説明できる(DP1-2,DP4-1,DP5-1)。 3．妊娠期、授乳期における生理、生化学的変化に応じた栄養の特性、この時期に起こりやすい疾病の予防・改善のための栄養管理の方法について説明できる(DP1-2,DP3-1,DP4-1,DP5-1)。 さらに、食事摂取基準を活用した妊娠、授乳期の栄養マネジメントについて述べることができる(DP1-2,DP2-1)。 4．新生児期、乳児期の栄養の基本や心身の発育と栄養の関連性、消化吸収能を主とした小児の栄養生理学的特徴および乳児期における栄養関連疾患について説明できる(DP1-2,DP3-1,DP4-1,DP5-1)。
理想的レベル	標準的レベルに加え、以下の項目を深めることができる。 1．栄養マネジメントの概要を理解し、応用栄養学以外の他の栄養学関連教科（臨床栄養、公衆栄養、栄養教育、給食経営管理　等）にも応用できる。 2．エネルギーと各栄養素の食事摂取基準 2020 年版の指標の概念、策定の科学的根拠および活用の基礎理論について説明でき、各ライフステージの栄養マネジメントに活用できる。 3．妊娠期、授乳期における生理、生化学的変化に応じた栄養の特性、この時期に起こりやすい疾病の予防・改善のための栄養管理の方法について説明でき、食事摂取基準を活用した妊娠、授乳期の栄養マネジメントを設計できる。 4．新生児期、乳児期の栄養の基本や心身の発育と栄養の関連性、消化吸収能を主とした小児の栄養生理学的特徴、栄養関連疾患について説明でき、栄養マネジメントに活かすことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	90%	
小テスト	10%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT21602J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
予習：テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習：配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	4

授業計画	
第1回	栄養マネジメント（1） 栄養マネジメントの概念、栄養アセスメントについて概説する。
第2回	栄養マネジメント（2） 栄養アセスメント（身体計測、臨床検査）について解説する。
第3回	栄養マネジメント（3） 栄養アセスメント（問診観察、食事調査など）、栄養ケアについて解説する。
第4回	・栄養マネジメント（4） 栄養アセスメントにおける評価の種類、方法について解説する。 ・食事摂取基準2020年版策定の科学的根拠（1） 食事摂取基準の概念、活用の基礎理論について解説する。1年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。
第5回	食事摂取基準2020年版策定の科学的根拠（2） エネルギー、エネルギー産生栄養素必要量策定の基礎理論について解説する。 1年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。
第6回	食事摂取基準2020年版策定の科学的根拠（3） 脂溶性、水溶性ビタミン必要量策定の基礎理論について解説する。 1年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。
第7回	食事摂取基準2020年版策定の科学的根拠（4） 多量および微量ミネラル必要量策定の基礎理論について解説する。 1年次の「栄養学概説」の復習を兼ねる。
第8回	成長・発達、加齢 出生から高齢期までの流れについて、成長、発達、加齢と栄養摂取を関連させ、解説する。
第9回	母性（妊娠期①）栄養（1） 妊娠、母体・胎児の生理的変化と母体の栄養摂取に関して解説する。
第10回	母性（妊娠期②）栄養（2）

	妊娠期における栄養アセスメント、栄養補給法、食事摂取基準 2020 年版（妊娠期の付加量など）について解説する。
第 11 回	母性（妊娠期③）栄養（3） 妊娠期における疾患、その栄養療法等について解説する。
第 12 回	母性（授乳期①）栄養（4） 授乳婦の生理的特徴、食事摂取基準 2020 年版（授乳期の付加量）等について解説する。
第 13 回	母性（授乳期②）栄養（5） 授乳期における疾患、栄養アセスメント、授乳・離乳支援ガイド（厚生労働省）の授乳支援について解説する。
第 14 回	新生児期・乳児期の栄養（1） 新生児・乳児の生理・生化学的特徴および哺乳反射について解説する。
第 15 回	新生児期・乳児期の栄養（2） 新生児、乳児の生理機能の発達、栄養アセスメント、乳児期の疾患等について解説する。
テキスト	・「イラスト　応用栄養学」第 3 版　東京教学社 ・「厚生労働省策定　日本人の食事摂取基準　2020 年版」第一出版 K.K・・・1 年次後期に「栄養学概説」で購入しています。 必要に応じて参考資料とパワーポイントの資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・「栄養ケア・マネジメント　基礎と概念」　木戸康博・小倉嘉夫・真鍋祐之編　医歯薬出版株式会社 ・「食事摂取基準　理論と活用」　鈴木　公・木戸康博編　医歯薬出版株式会社 ・妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針～妊娠前から、健康なからだづくりを～　厚生労働省 ・授乳・離乳支援ガイド　～厚生労働省 ・乳児用調整粉乳の安全な調乳、保存および取り扱いに関するガイドライン～　WHO/FAO
課題に対するフィードバックの方法	課題はないが、毎回の講義の終了時に、講義内容や予習復習を含む小テストを実施し、解説し、提出して頂きます。小テストは次の講義時に返却します、質問等にも回答し返却します。
学生へのメッセージ・コメント	【理解に必要な予備知識や技能】ライフステージ別の栄養管理では、人体の構造と機能および疾病の成り立ちに該当する科目（特に解剖生理学・応用生理学、疾病診断治療学）の知識が必要になります。また、食事摂取基準 2020 年版を学ぶ上で、「栄養学概説」、「基礎栄養学」の知識が必要になります。1 年次に学んだ「栄養学概説」の復習をしておくようにして下さい。 【授業以外の学習方法・受講生へメッセージ】応用栄養学は栄養マネジメントへの理解を深め、さらに皆さんが歩んできたライフステージと、加齢とともにこれから歩んでいくライフステージにつ

	いて学び、それを生活習慣の改善や栄養指導に活かす教科です。日々の生活から多くのことを吸収して、この講義で学んだことと関連付け、栄養士・管理栄養士になるために必要な知識を身につけて欲しいと思います。授業以外の学習方法としては、まず教科書を読み予習してきてください。復習は、配布した講義スライドと教科書を見直すことを最低限行って下さい。なお、試験に関しては、講義の中で指示します。